

■第10章

- 1) 音程の相対関係
- 2) 派生音を含む音程
 - 2-1) 長音程・短音程
 - 2-2) 完全音程・増音程・減音程
 - 2-3) 重増音程・重減音程
(doubly augmented interval/doubly diminished interval)
- 3) 原音程と転回音程
- 4) 音程の種類
- 5) 五度圏 (circle of fifth)

1) 音程の相対関係

次の表は音程の「狭い」「広い」と言った相対関係と、音程の種類を表わしています。左側は音程は狭く、右側は音程が広がる状態を意味しています。

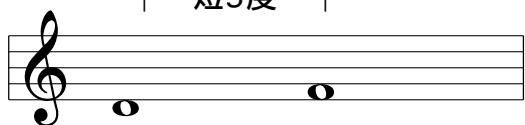
example 10-1

音程					
狭い ← → 広い					
重減 (Doubly diminished)	減 (Diminished)	完全(Perfect) 1・4・5・8度		増 (Augmented)	重増 (Doubly augmented)
		短(Minor) 2・3・6・7度	長(Major) 2・3・6・7度		

次の音程は共に「3度」ですが、「D・F」が「短3度」であるのに対し、「C・E」は「長3度」です。

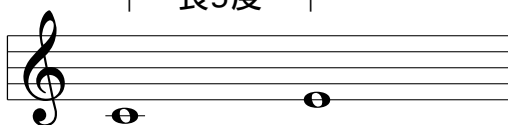
example 10-2

短3度



: D F

長3度



: C E